

総合振興計画、総合戦略及び定住自立圏共生ビジョンの進捗管理について

【総括】

平成 28～33 年度を計画期間とする第 2 次浜田市総合振興計画前期基本計画について、初年度（平成 28 年度）の進捗状況の検証を行った。

検証は、基本計画に掲げる 143 項目の数値目標の達成率を算出するとともに、6 年の計画期間の初年度として順調であるかどうかの目安として A～E の 5 段階評価を行った。（詳細は次ページの進捗状況表【表 1】及び【表 2】のとおり）

実績値が目標値にどれくらい近づいたかを示す【表 1】では、計画 1 年目ということもあり 75%以上の達成率となっている項目が 32 項目（22.7%）、逆に 25%未満の達成率となっている項目が 71 項目（50.3%）であったが、6 年の計画期間において目標達成に向けて計画どおりに進んでいるかどうかを示す【表 2】では、「A」または「B」評価が 98 項目（69.5%）であり、概ね順調な進捗状況であると評価している。

また、総合振興計画は、浜田市の将来像を実現するために 7 つのまちづくりの大綱（部門）を掲げているが、その部門ごとに見ると【産業経済部門】や【防災・防犯・消防部門】など一部で進捗状況にやや遅れが見られるが、その他の部門については概ね計画どおりであると評価している。

また、各自治区の取組みについては、それぞれの目標設定に違いがあり評価は難しいが、【表 2】のとおり「A」または「B」の評価が約 6 割となっている。

このように、初年度の取組みとしては概ね順調であるものの、第 2 次浜田市総合振興計画の基本構想に掲げる「人口」・「出生数」・「社会増減数」の 3 つの基本指標については、平成 28 年度末現在、人口 55,553 人、出生数 392 人、社会増減数▲118 人となり、前年度と比較して 606 人の人口減を示す結果となった。

特に出生数は、前年度から 15 人減少しているように、近年減少傾向にあり、今後も減少することが予想される。なお、社会増減数は単年度だけ見ると好転の兆しは見られるものの、年度ごとの変動が大きい指標であるので長期的に推移を見ていかなければならない。

この 3 つの基本指標を達成するためには、長期的な取組み、総合的な取組みが重要であり、前述の前期基本計画に定めた様々な数値目標の達成に向け、今後も進捗管理を行っていく。

目標達成率別状況【表1】 ※H28(1年目)実績値における目標値までの到達割合

目標達成率別状況	項目数	進捗状況					
		100%以上	75%~ 100%未満	50%~ 75%未満	25%~ 50%未満	0%~ 25%未満	0%未満
部門別計画	112	24 (21.4%)	2 (1.8%)	9 (8.0%)	19 (17.0%)	36 (32.1%)	22 (19.7%)
Ⅰ 産業経済部門	27	5 (18.6%)	1 (3.7%)	1 (3.7%)	4 (14.8%)	8 (29.6%)	8 (29.6%)
Ⅱ 健康福祉部門	17	6 (35.3%)	0 (0.0%)	2 (11.8%)	1 (5.9%)	6 (35.3%)	2 (11.7%)
Ⅲ 教育文化部門	19	6 (31.6%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)	2 (10.5%)	2 (10.5%)	6 (31.6%)
Ⅳ 環境部門	6	1 (16.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	3 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (23.8%)	11 (52.4%)	2 (9.5%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (22.3%)	2 (22.2%)	2 (22.2%)	3 (33.3%)
Ⅶ 地域振興部門	13	3 (23.1%)	0 (0.0%)	2 (15.4%)	4 (30.7%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)
自治区別計画	27	4 (14.8%)	0 (0.0%)	8 (29.7%)	2 (7.4%)	9 (33.3%)	4 (14.8%)
1 浜田自治区	2	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)
2 金城自治区	5	1 (20.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	1 (20.0%)
3 旭自治区	5	1 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)
4 弥栄自治区	7	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	1 (14.2%)	2 (28.6%)	2 (28.6%)
5 三隅自治区	8	2 (25.0%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)
開かれた行財政運営の推進	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	141	30 (21.3%)	2 (1.4%)	17 (12.1%)	21 (14.9%)	45 (31.9%)	26 (18.4%)

進捗評価別状況【表2】 ※目標達成に向けH28(1年目)の取組が計画どおりかどうかを評価

進捗評価別状況	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
部門別計画	112	53 (47.3%)	26 (23.2%)	24 (21.4%)	9 (8.1%)	0 (0.0%)
Ⅰ 産業経済部門	27	13 (48.2%)	3 (11.1%)	8 (29.6%)	3 (11.1%)	0 (0.0%)
Ⅱ 健康福祉部門	17	9 (52.9%)	5 (29.4%)	1 (5.9%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)
Ⅲ 教育文化部門	19	10 (52.6%)	3 (15.8%)	6 (31.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Ⅳ 環境部門	6	2 (33.3%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Ⅴ 生活基盤部門	21	8 (38.1%)	5 (23.8%)	5 (23.8%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)
Ⅵ 防災・防犯・消防部門	9	2 (22.3%)	3 (33.3%)	3 (33.3%)	1 (11.1%)	0 (0.0%)
Ⅶ 地域振興部門	13	9 (69.2%)	3 (23.1%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
自治区別計画	27	10 (37.1%)	7 (25.9%)	3 (11.1%)	7 (25.9%)	0 (0.0%)
1 浜田自治区	2	1 (50.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
2 金城自治区	5	2 (40.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	0 (0.0%)
3 旭自治区	5	2 (40.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)
4 弥栄自治区	7	4 (57.1%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	2 (28.6%)	0 (0.0%)
5 三隅自治区	8	1 (12.5%)	4 (50.0%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	0 (0.0%)
開かれた行財政運営の推進	2	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	141	65 (46.1%)	33 (23.4%)	27 (19.2%)	16 (11.3%)	0 (0.0%)

進捗評価対象外項目	項目数	対象外とした理由
Ⅲ 教育文化部門	2	指標値の進捗状況を把握することが不可能となったため。

第2次浜田市総合振興計画前期基本計画 掲載目標の進捗状況

(平成28年度実績)

1 調査方法

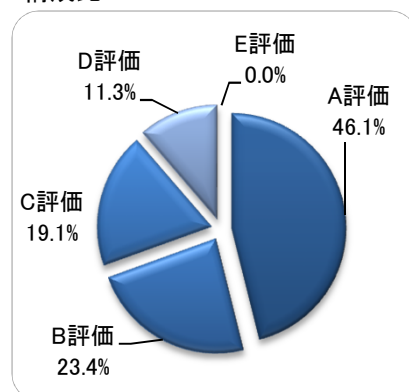
143項目の目標に対する平成28年度末の現状値から平成28年度の進捗状況を評価した。

2 調査結果

(1) 概要

- 「A」 計画どおり、又はそれ以上の成果・実施があった
- 「B」 計画を少し下回る成果・実施があった
- 「C」 計画の半分程度の成果・実施となった
- 「D」 計画を大きく下回る成果・実施となった
- 「E」 ほとんど成果・実施がなかった

構成比



(2) 「目標」の進捗状況

	項目数	進捗状況				
		A評価	B評価	C評価	D評価	E評価
部門別計画	112	53	26	24	9	0
I 産業経済部門	27	13	3	8	3	0
II 健康福祉部門	17	9	5	1	2	0
III 教育文化部門	19	10	3	6	0	0
IV 環境部門	6	2	4	0	0	0
V 生活基盤部門	21	8	5	5	3	0
VI 防災・防犯・消防部門	9	2	3	3	1	0
VII 地域振興部門	13	9	3	1	0	0
自治区別計画	27	10	7	3	7	0
1 浜田自治区	2	1	1	0	0	0
2 金城自治区	5	2	1	1	1	0
3 旭自治区	5	2	0	1	2	0
4 弥栄自治区	7	4	1	0	2	0
5 三隅自治区	8	1	4	1	2	0
開かれた行財政運営の推進	2	2	0	0	0	0
合計	141 (100.0%)	65 (46.1%)	33 (23.4%)	27 (19.1%)	16 (11.3%)	0 (0.0%)

進捗評価対象外項目	項目数	対象外とした理由
III 教育文化部門	2	指標値の進捗状況を把握することが不可能となったため。

部門別計画 ～一体的なまちづくり～

凡例 ▶ 平成28年度現状値が策定時現状値より後退しているもの

I 活力のある産業を育て雇用をつくるまち【産業経済部門】 27項目

1 水産業の振興

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
<p>1 沖合底曳網漁業リシップ事業取組統数の増加 ※リシップ事業（リシップ等による収益性回復の取組）を実施した船団数</p> <p>【進捗状況】 平成27年度に2ヶ統がリシップ工事を完了した。</p> <p>【今後の取組】 リシップ工事をしたものの建造から30年程度が経過し、老朽化が進んでいるので、新船建造に向けた取組を検討する。</p>	3ヶ統	5ヶ統	5ヶ統	100.0%	A	○		漁港活性化室
<p>2 まき網漁業構造改革取組統数の増加 ※まき網漁船2ヶ統存続のための漁業構造改革取組船団数</p> <p>【進捗状況】 漁業構造改革の準備段階として当面の存続を図るため、中古船の購入や設備改修に伴う資金を金融機関で融資を受けた場合に利子補給する制度を創設し、1ヶ統が活用した。</p> <p>【今後の取組】 国の「もうかる漁業創設事業」や平成28年度に国が創設した「漁船リース事業」の活用による構造改革の取組を経営体の意向確認しながら推進する。</p>	0ヶ統	2ヶ統	0ヶ統	0.0%	C	○		漁港活性化室
<p>3 新規漁業研修者数の増加（若者漁業者・ふるさと漁業研修生） ※新規漁業研修者数（6年間の累計）</p> <p>【進捗状況】 計画どおりの実績で進捗している。</p> <p>【今後の取組】 ふるさと島根定住財団等との連携を深め、U・Iターンフェアやウェブサイトなどで漁業就労に関する情報を発信し、研修生の確保につなげる。</p>	3人	18人	6人	33.3%	A	○		水産振興課
<p>4 高度衛生管理型荷捌所整備率の増加 ※高度衛生管理型荷捌所（沖底用・まき網用）の整備率</p> <p>【進捗状況】 国の補助採択を受け、まき網用荷捌所の基本設計に着手した。整備に向けた取組は、ほぼ工程どおりに進捗している。</p> <p>【今後の取組】 平成29年度中にまき網用荷捌所の工事発注と沖底用荷捌所の基本設計に着手する予定である。</p>	0%	100%	5%	5.0%	B	○		漁港活性化室
<p>5 「どんちっち」ブランド加盟業者数の増加 ※ブランド規格に基づく「どんちっち三魚」の取扱業者（団体）数</p> <p>【進捗状況】 新規9件の加盟があったが、廃業等による退会が3件あった。</p> <p>【今後の取組】 近年の加盟業者の傾向としては、市外・県外の事業者の割合が高くなっている。今後も認知度の向上に努め、広域的な展開を図る。</p>	130店	140店	136店	60.0%	A	○	○	水産振興課
<p>6 ヒラメ稚魚育成尾数の増加 ※ヒラメ稚魚の育成尾数（6年間の累計）</p> <p>【進捗状況】 年間8万尾ずつを育成し、放流する計画としており、計画どおり実施した。</p> <p>【今後の取組】 島根県水産振興協会と連携して計画どおり実施する。</p>	8万尾	48万尾	8万尾	16.7%	A	○		水産振興課
<p>7 アワビ稚貝放流数の増加 ※アワビ稚貝の放流数（6年間の累計）</p> <p>【進捗状況】 年間1万6,000個ずつ放流を実施する計画としており、計画どおりに実施した。</p> <p>【今後の取組】 JFしまね浜田支所と連携し、適切なエリアに計画どおり実施する。</p>	16,000個	96,000個	16,000個	16.7%	A	○		水産振興課

8	漁港機能保全計画策定箇所数の増加 ※漁港機能保全計画策定箇所数（津摩、古湊、福浦漁港の3か所）	1か所	3か所	3か所	100.0%	A	○		水産振興課
【進捗状況】 上記3漁港の機能保全計画書を策定した。（平成26年度 津摩漁港、平成27年度 古湊漁港、平成28年度 福浦漁港）									
【今後の取組】 国や県の動向を勘案し、折居漁港、今浦漁港の計画策定について検討を行う。									
9	漁港海岸長寿命化計画策定箇所数の増加 ※漁港海岸長寿命化計画策定箇所数（折居漁港海岸）	0か所	1か所	0か所	0.0%	C	○		水産振興課
【進捗状況】 計画策定のため、折居漁港海岸の実地確認を実施し、現状把握を行っている。									
【今後の取組】 平成30年度の計画策定に向け、関係者と協議を行う。									

2 農林業の振興

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	振興作物農業産出額の増加 ※振興作物（大粒ぶどう、赤梨、西条柿）の農業産出額	173,295千円	200,000千円	158,671千円	-54.8%	C		○	農林振興課
【進捗状況】 市単独の農産物振興プロジェクト事業補助金の活用により、農業用施設整備や補植等の実施で園地の維持を図るとともに、生産量の確保に努めている。農業産出額の減った要因としては、昨年9月の長雨による天候不順の影響や、特に梨では黒星病が発生したことにより生産量が大幅に減った。									
【今後の取組】 西条柿については、加工施設の整備やあんぼ柿の生産拡大により農業産出額の向上を図る。梨については、荒廃園地を整備後、ジョイント栽培による早期成園化や既存園の改植を進め、園地を維持することで生産量の拡大を図る。大粒ぶどうについては、リース事業を導入し、面積及び生産量の拡大を目指す。									
2	新規就農者の新規認定数の増加 ※就農計画が新たに認定された農業経営体数	3経営体	毎年1経営体 (6経営体)	0経営体	0.0%	C		○	農林振興課
【進捗状況】 新・農業人フェアや就農相談バスツアー等で新規就農者の確保に努めている。平成28年度は認定新規就農者の対象となる研修生が研修期間中であつたため、来年度以降に認定新規就農者が増える見込みとなっている。									
【今後の取組】 これまでと同じく新・農業人フェアや就農相談バスツアー等で新規就農者の確保に努めるとともに、新規就農サポートチーム体制を組んで新規就農者の育成支援を行う。									
3	認定農業者数の新規認定数の増加 ※農業経営改善計画が新たに認定された農業経営体数	1経営体	毎年1経営体 (6経営体)	5経営体	83.3%	A		○	農林振興課
【進捗状況】 新規に認定農業の希望があつた場合、面接により状況を確認し、農業経営改善計画認定申請書の策定の支援を行っている。									
【今後の取組】 引き続き、同様に新規の認定農業者の希望者に対して計画策定の支援を行うとともに、新たな認定農業者確保のため農家への情報提供誌により広報活動を行う。									
4	集落営農組織数の増加 ※集落営農組織の規約が作成されている組織数	30組織	33組織	33組織	100.0%	A		○	農林振興課
【進捗状況】 目標値に到達した。									
【今後の取組】 新たな組織化意向集落の掘り起こし及び既存組織の法人化や経営の多角化、組織間連携など、安定経営に向けたステップアップの支援を行う。									
5	森林経営計画に基づく原木生産量の増加 ※森林経営計画策定済み団地からの原木生産量	8,069m ³	12,500m ³	15,000m ³	156.4%	A		○	農林振興課
【進捗状況】 概ね計画どおりに実施した。									
【今後の取組】 引き続き、事業の促進を行う。									

6	苗木生産量の増加 ※コンテナ苗等の苗木生産量	22,550本	91,000本	22,460本 ↓	-0.1%	C	○		農林振興課
【進捗状況】 平成27年度はコンテナ苗の生育不良により12,305本であったが、平成28年度に育成方法を見直したことにより、生産量が増加した。									
【今後の取組】 今後も関係機関の協力の下、目標に向けて生産拡大を目指していく。									

3 商工業の振興

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1 新商品の開発件数の増加 ※本市の助成金を活用した新商品の開発累積件数	66件	102件	80件	38.9%	A	○		産業政策課	
【進捗状況】 中小企業イノベーション支援事業補助金やブランディングセミナー等を通じて、開発を促進している。 平成27年度の新商品開発は9件、平成28年度は、既存商品のパッケージ改良等を行う事業者が多かったため、新商品開発は5件となった。									
【今後の取組】 引き続き、中小企業者等の積極的な事業活動に対し補助事業等による支援を行うとともに、ブランディングセミナー等を通じて新商品開発を促進する。									
2 開業企業数の維持 ※市内での年間の開業企業数	33件	33件	33件	100.0%	A	○		産業政策課	
【進捗状況】 創業セミナーや商業活性化支援事業補助金、創業支援資金補助金等を通じて支援し、平成27、28年度ともに33件の開業企業があった。									
【今後の取組】 引き続き、創業セミナーや商業活性化支援事業補助金、創業支援資金補助金等による開業支援を行い、起業への意識を啓発して起業者の育成を図るとともに、関係機関と連携して起業家への支援を行う。									

4 国際貿易港浜田港など港湾を活用した産業振興

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1 外貿内貿貨物取扱量の増加 ※浜田港の取扱い貨物量	52万トン	70万トン	41万トン ↓	-61.1%	D	○		産業振興課	
【進捗状況】 輸出は中古車が減少し、輸入は原木は増加したものの、石炭、産業機械が減少し、合計で41万トンとなった。									
【今後の取組】 港湾関係機関と連携し、主要バルク貨物（木材・中古車・石炭）と取り扱う利用企業のニーズの把握と、新たな貨物についての情報収集に努める。									
2 コンテナ貨物取扱量の増加 ※浜田港と韓国・釜山港との国際定期コンテナ航路のコンテナ取扱量	3,414TEU	4,500TEU	2,918TEU ↓	-45.7%	C	○		産業振興課	
【進捗状況】 木材の取扱量が、相手側国内の価格不安定化により大きく減少した。大口貨物・新規貨物の獲得に向けて販促を行い、徐々にあるが成果が出てきている。									
【今後の取組】 大口貨物の荷主に対し、浜田港利用に向けた具体的な交渉を開始する。また、他の大口貨物の荷主について、ポートセールスを強化する。また、新規荷主の開拓を図るため、荷主や所属組合へのポートセールスに努める。									
3 クルーズ客船の寄港回数の増加 ※浜田港へ寄港するクルーズ客船の年間回数	2回	5回	1回 ↓	-33.3%	D	○		産業振興課	
【進捗状況】 外国船籍船については県と連携して誘致を行った。日本船籍船誘致のため、浜田市内の観光地を巡るオプションツアーを提案したが、既存定期航路を上回る魅力発信ができず寄港回数目標は達成できなかった。									
【今後の取組】 外国船籍船については、引き続き、県と連携して誘致の取り組み。日本船籍船についても、オプションツアーのブラッシュアップを行い、寄港の増加に努める。									

5 観光・交流の推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 浜田の五地想ものがたり協賛店舗数の増加 ※浜田の食材にこだわった地産地消メニュー提供店舗数	34店舗	40店舗	33店舗	-16.7%	C	○		観光交流課
<p>【進捗状況】 平成27年度には8店舗が退会、7店舗が加盟し、平成28年度には5店舗の退会、5店舗の加盟があった。店舗訪問等により新規店舗の加盟に努めたものの、閉店等の店舗の都合により店舗数の増加にはつながらなかった。</p> <p>【今後の取組】 引き続き新規加盟店を増やすとともに、協議会やワーキンググループの在り方も検討していく。</p>								
2 はまごちツープライスマ料理提供食数の増加	1,400円	17,009食	30,000食	12,072食	-38.0%	D	○	観光交流課
3 ※浜田の五地想ものがたり協賛店の1,400円、2,800円の提供食数	2,800円	10,629食	20,000食	11,299食	7.1%	B	○	観光交流課
<p>【進捗状況】 1,400円メニューは、全体の食数は減少したが、家族で訪れやすい加盟店では食数が増加した。2,800円メニューについては、ランチだと県外の方が多く、夜だとお得感があるということで注文者が増加した。</p> <p>【今後の取組】 インスタグラムキャンペーンなど、若い世代にもPRしていく。また、ツープライスマメニューを店の定番メニューとしてもらえるよう取組をしていく。</p>								
4 宿泊客数の増加 ※市内のホテル・旅館・民宿等の年間（1月～12月）宿泊客数	225,043人	250,000人	237,352人	49.3%	A	○	○	観光交流課
<p>【進捗状況】 様々な取組が少しずつ成果につながっている。</p> <p>【今後の取組】 引き続き宿泊者数客の増加のため、各種政策に取り組む。</p>								
5 合宿等誘致人数の増加 ※合宿等誘致事業の年間利用人数	3,642人	5,000人	3,634人	-0.6%	C	○	○	観光交流課
<p>【進捗状況】 市内合宿施設への営業活動を行い、合宿誘致活動を実施している。申請件数は過去6年間で最高だったものの、各申請団体の構成人数が少なかったため目標値に到達しなかった。</p> <p>【今後の取組】 市外・県外施設への営業活動や体験教育旅行の誘致の取組を行い、合宿誘致人数の増に努める。</p>								

6 企業立地による雇用の推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 新規立地企業数の増加 ※新規に立地した企業数（6年間の累計）	1社	12社	3社	25.0%	A	○		産業政策課
<p>【進捗状況】 各部署と連携して企業誘致活動を行い、3社の企業誘致を行った。</p> <p>【今後の取組】 食料品等の製造業、IT企業、ホテル等の業種を重点業種とし、引き続き、各部署と連携しながら企業立地の促進を行う。</p>								
2 新規学卒地元就職者数の増加 ※地元の高校・大学を卒業して市内企業に就職する学生数	57人	100人	63人	14.0%	B	○		産業政策課
<p>【進捗状況】 市内各学校の卒業生数が減少したことに伴い、市内への就職者数も減少している中、就職者のうち市内に就職した人の割合は増加傾向にある。浜田・江津地区雇用推進協議会や島根県、その他関係機関による地元企業の魅力発信などの周知活動が実を結んだ結果と考える。</p> <p>【今後の取組】 引き続き、雇用推進協議会、各関係機関と連携を図りながら、地元企業の魅力発信に努めていく。</p>								

1 医療体制の充実

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 浜田市国民健康保険診療所の常勤医師数の増加（へき地診療所等5施設） ※中山間地域の医療を支えるへき地診療所等の医師の人数	3人	4人	3人	0.0%	B		○	地域医療対策課
<p>【進捗状況】</p> <p>平成27年度から浜田医療センターに常勤医師を1人派遣しており、現在1人減の状態となっている。地域医療対策課専属の医療専門監が診療所長を兼務して、減員分を補っている。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>平成30年度には、欠員非常勤医師1人の採用予定者があるため、平成29年度は現行体制で対応する。</p>								

2 健康づくりの推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 健康寿命（男女別）の延伸	男	81.47歳	82.02歳	81.77歳	54.5%	B		地域医療対策課
2 ※目標値：平成27年度当初島根県平均値	女	84.90歳	85.66歳	84.74歳	-21.1%	D		地域医療対策課
<p>【進捗状況】</p> <p>平均寿命は延伸しており、特に男性は島根県より高い状況である。（市：80.44 県：79.85）一方、健康寿命は、男性は延伸しているが、女性は短縮している。女性の健康寿命の延伸が課題である。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>女性の健康寿命延伸の阻害要因について分析し、介護予防の推進を行う。</p>								
3 がん年齢調整死亡率の減少（人口10万人当たりの年間死亡者数） ※全年齢合計によるがん年齢調整死亡率（目標値は島根県平均値）	126.7	125.1	119.9	425.0%	A			地域医療対策課
<p>【進捗状況】</p> <p>着実に減少してきている。がん検診料を無料とし、受けやすい環境が整っている。特に40～64歳男性の年齢調整死亡率の低下につながっている。（平成20年度 182.0 平成25年度 140.6）</p> <p>【今後の取組】</p> <p>引き続き、がん検診無料化を行い、受けやすい環境を作る。また、40～64歳女性の年齢調整死亡率が悪化傾向であり、働く女性へのがん検診受診啓発が必要である。</p>								

3 子どもを安心して産み育てる環境づくり

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 子育て世代包括支援センター（仮称）の施設数の増加 ※全ての妊産婦の状況を継続的に把握し、妊娠期から育児期までの総合的相談や支援をワンストップで行う子育て世代包括支援センター（仮称）の数	0か所	1か所	1か所	100.0%	A	○		子育て支援課
<p>【進捗状況】</p> <p>平成28年10月に、子育て世代包括支援センターを設置した。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>全妊婦の支援台帳・プランを作成し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援の実施を継続する。</p>								
2 認可保育所定員数の増加 ※認可保育所の定員数	1,895人	1,955人	1,875人	-33.3%	A	○	○	子育て支援課
<p>【進捗状況】</p> <p>計画策定時の現状値は、1園の施設整備による定員20人の増を見込み1,895人としていたが、以降、入園申込状況から2園で20人の定員を減らしたことから実質は1,875人となっていた。以上のことから平成28年度現状値は横ばいであったが、平成28年度中に保育所2園の施設整備が完了したことに伴い、平成29年度の定員数は1,980人となっている。</p> <p>【今後の取組】</p> <p>平成29年度に1園の施設整備を予定しており、平成30年4月時点で定員数が10人増の見込みである。</p>								

3	放課後児童クラブ定員数の増加 ※放課後児童クラブの定員数	790人	850人	790人	0.0%	B	○	○	子育て支援課
【進捗状況】 3クラブの施設を整備し、平成29年4月時点で定員825人とした。									
【今後の取組】 施設の増設と定員の適正化を行い、受け入れ児童の拡大を目指す。									
4	地域子育て支援拠点数の増加 ※地域子育て支援拠点数	2施設	3施設	2施設	0.0%	A	○	○	子育て支援課
【進捗状況】 三隅地区で地域子育て支援拠点の開設に向けて委託先予定法人と協議を行った。開設準備費補助を平成29年度当初予算に計上し、平成30年度に1施設増とする。									
【今後の取組】 平成29年度施設整備、平成30年度事業開始を目指す。									

4 高齢者福祉の充実

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	地域包括支援センター数の増加 ※地域包括支援センターの数（サブセンターを自治区ごとに設置）	1施設	5施設	5施設	100.0%	A			健康長寿課
【進捗状況】 浜田自治区以外の各支所にサブセンターを設置した。									
【今後の取組】 地域包括ケア体制推進の中核を担う機関でもあり、各センターの機能強化を図っていく。									
2	シルバー人材センター会員数の増加 ※浜田市シルバー人材センターに登録された会員数	464人	552人	475人	12.5%	B			健康長寿課
【進捗状況】 56人の新規入会があった。									
【今後の取組】 シルバー人材センターにおいて、普及啓発活動を実施し、会員数の拡大を図る。									
3	要介護認定率の増加の抑制（要介護者のみ） ※65歳以上の高齢者のうち、要介護1以上の認定者の割合	18.8%	19.6%	18.7%	112.5%	A		○	健康長寿課
【進捗状況】 1号被保険者19,762人のうち、要介護1以上の認定を受けた者は3,688人であった。									
【今後の取組】 介護予防事業等を引き続き実施し、認定率増加の抑制を図る。									
4	認知症サポーター養成講座受講者数の増加 ※認知症の人と家族を地域で見守る応援者養成講座の受講者の総数	3,696人	6,000人	5,262人	68.0%	A		○	健康長寿課
【進捗状況】 小学校や高校などの教育現場でも開催し、835人が受講した。									
【今後の取組】 地域住民ばかりでなく、企業等への受講者の拡大を図る。									
5	市民後見人養成講座受講者数の増加 ※親族後見人と専門職後見人との存在として位置づけられる市民後見人養成講座の受講者の総数	70人	150人	76人	7.5%	D			健康長寿課
【進捗状況】 支援員として活動を担える人材育成を目的に、これまでの受講者を対象にフォローアップ研修を実施した。									
【今後の取組】 引き続き、社会福祉協議会に市民後見人養成講座開催を委託し、受講者の増員を図る。									

5 障がい者福祉の充実

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 地域生活支援拠点数の増加 ※障がい者の地域生活を支援する機能を集約した拠点数	0か所	1か所	0か所	0.0%	C		○	地域福祉課
【進捗状況】 市内社会福祉法人が、同法人が運営する老朽化したグループホームの整備に併せて、地域生活支援拠点整備を検討している。								
【今後の取組】 地域生活支援拠点の整備は、事業実施する社会福祉法人等の人材確保やハード面の課題もある。事業実施可能な法人と連携しながら協議を進める。								
2 障がい児通所支援事業所数の増加 ※身近な地域で障がい児の療育・発達について専門的な支援が提供される事業所数	3か所	5か所	5か所	100.0%	A			地域福祉課
【進捗状況】 目標値である5か所が整備された。								
【今後の取組】 目標値に到達したが、市内事業所のサービス利用回数は増加傾向にあるため、今後も引き続き増設に向け、事業実施可能な法人等と連携しながら取り組んでいく。								
3 手話通訳奉仕員登録者数の増加（手話通訳士・者含む） ※手話通訳奉仕員登録者数	49人	84人	65人	45.7%	B			地域福祉課
【進捗状況】 研修実施の時間帯（夜間）等を検討した結果、手話通訳奉仕員の登録が増加傾向にある。								
【今後の取組】 今後も引き続き、市民の方が手話に興味・関心をもてるよう事業推進と啓発に努める。								

6 地域福祉の推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 「避難行動要支援者名簿」の提供を受ける地域の関係団体数の増加 ※名簿を基に地域防災に取り組む団体数（消防団、民生委員を除く。）	44団体	70団体	91団体	180.8%	A			地域福祉課
【進捗状況】 地域の関係団体数が91団体（地区まちづくり・自治会・町内会34、社協1、自主防災組織56）となり、目標値を上回る成果を上げることができた。								
【今後の取組】 目標値に到達できたが、地域の関係者がいない町内会もあるので、引き続き、関係団体数の増加に取り組んでいく。								

Ⅲ 夢を持ち郷土を愛する人を育むまち【教育文化部門】

21項目

1 学校教育の充実

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 「総合的な学習の時間」で学習したことが普段の生活や社会に出たときに役立つと思う子どもの割合の増加	小6	83.5%	90.0%	79.7%	-58.5%	C	○	学校教育課
2 ※全国学力・学習状況調査による肯定率	中3	74.1%	80.0%	71.6%	-42.4%	C	○	学校教育課
【進捗状況】 平成27年度は一旦増加したものの、平成28年度は小学校、中学校ともに減少した。								
【今後の取組】 総合的な学習の時間の取組について、課題解決的な学習課程を組むなどの工夫が必要である。学校訪問等を通して、各校に丁寧に指導を進める。								

3	「総合的な学習の時間」において、自分で調べ学習活動に取り組んでいると思う子どもの割合の増加	小6	57.7%	65.0%	67.3%	131.5%	A	○	学校教育課
4	※全国学力・学習状況調査による肯定率	中3	52.7%	60.0%	60.3%	104.1%	A	○	学校教育課
【進捗状況】 目標値に到達することができた。継続して取組を進める。									
【今後の取組】 図書館活用教育で進めている教科横断的な指導や調べ学習などが効果を表してきていると考えられる。引き続き、学校図書館を活用した、協働的な取組を推進する。									
5	自分には良いところがあると思っている子どもの割合の増加	小6	79.1%	86.0%	75.6%	-50.7%	C		学校教育課
6	※全国学力・学習状況調査による肯定率	中3	73.9%	77.0%	71.6%	-74.2%	C		学校教育課
【進捗状況】 小学校、中学校ともに策定時よりも下がっており、十分な成果を出すことができていない。									
【今後の取組】 アンケートQUの活用等や学校訪問指導等を通して、きめ細やかな指導を継続することや、学校生活や学習の中で協働的な活動を促進することで互いに認め合うことができる機会を増やすことができるよう呼びかける。									
7	人の気持ちが分かる人間になりたいと思っている子どもの割合の増加	小6	90.4%	95.0%	—	—			学校教育課
8	※全国学力・学習状況調査による肯定率	中3	97.0%	98.0%	—	—			学校教育課
【進捗状況】 平成28年度全国学力調査から質問項目が削除されたことにより進捗状況が不明となった。他の質問項目である「人の役に立つ人間になりたいと思う」子どもの割合を見ても平成27年度より肯定率は下がっているため、上記5の「自分には良いところがあると思っている子どもの割合の増加」の結果とともに課題であると考えている。									
【今後の取組】 学習や生活の中で他と関わりながら、児童・生徒相互が互いのよさを認め合いながら活動を進めていくことが大切である。小中連携教育の推進委員会等を通して呼びかけを行い、学習課程の中に活動の場の設定を推奨する。									
9	学校給食での地域食材利用率の増加 ※市内小中学校の給食における地元食材利用率		58.2%	70.0%	70.9%	107.6%	A	○	教育総務課
【進捗状況】 各センター・学校の栄養士・栄養教諭の意識の高まりと献立の工夫、JAコーディネーター配置による定期的な情報提供等の連携により、県内8市の中で1位の率となった。									
【今後の取組】 引き続き、産業経済部との連携を図り、地元産食材を使用していく。また、食育の教材としても活用を検討する。									

2 家庭教育支援の推進

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	親学プログラムの実施回数の増加 ※親学プログラムを活用した学習機会の提供回数	11回	25回	17回	42.9%	A			生涯学習課
【進捗状況】 公民館において、新たに若い世代の親を対象に実施されたが、学校のPTA研修会や保育園での実施が減少している。									
【今後の取組】 PRに力を入れていく。									

3 社会教育の推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 ふるさと郷育ネットワーク団体数の増加 ※中学校区でふるさと郷育を協議するネットワーク団体の数	3団体	9団体	8団体	83.3%	A	○		生涯学習課
【進捗状況】 打ち合わせ等を行い、平成29年度達成に向けて調整した。								
【今後の取組】 平成29年度に目標を達成する予定としている。								
2 学校支援活動に参加したボランティア人数の増加 ※学校支援地域本部事業のボランティアの延べ参加者数	7,528人	8,500人	6,668人	-88.5%	C			生涯学習課
【進捗状況】 学校により、登下校の見守りが市民の独立した活動となり、学校支援活動の実績に計上しなくなったため減少した。9校区中6校区でボランティアのつどいとして交流の場を設け、ボランティア参加への機運を高める活動を行った。								
【今後の取組】 9校区全区で、ボランティアの交流の場を設け、参加の機運を醸成するとともに、参加人数の増加を図る。								
3 地域課題の解決支援事業を実施する公民館数の増加 ※「地域課題の解決支援事業」に取り組む公民館の数	3公民館	26公民館	16公民館	56.5%	A	○		生涯学習課
【進捗状況】 地域課題の解決支援に向かう事業を展開するとともに、公民館職員の意識醸成を図る研修を2回実施した。								
【今後の取組】 地域の自治会やまちづくりにかかわる人々と公民館が協働した取組を展開する事業を構築する。引き続き、公民館職員の意識醸成、スキル向上を目指した研修を行う。								
4 図書館利用登録率の増加 ※市民の図書館利用者カード登録者の割合	34.3%	40.0%	36.3%	35.1%	B		○	中央図書館
【進捗状況】 平成25年度の中央図書館・三隅図書館開館以来、利用者数は安定的に伸びており、金城図書館の移転による一定程度の利用者数の増加傾向もうかがえるが、目標達成に向けてさらに努力が必要である。								
【今後の取組】 子育て支援の一環として「ブックスタート」の取組を関係部署と連携して行い、幼児期からの読書習慣化と併せて利用登録の増加につなげる。								
5 市民一人当たりの図書貸出冊数の増加 ※市民一人当たりの年間の図書貸出冊数	5.0冊	7.0冊	5.4冊	20.0%	B		○	中央図書館
【進捗状況】 市民への貸出冊数はほぼ横ばいで推移している。中央図書館・三隅図書館の認知度の向上と金城図書館移転による利便性の向上などから微増となった。								
【今後の取組】 平成28年度に需要の高い雑誌への購読切替を行い、新たな利用者層の増加を図った。また、施設を訪問したことがない市民にも関心が向く、各種催し・イベント等を通じて図書館の認知度向上を図っていく。								

4 生涯スポーツの振興

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 総合スポーツ大会参加者の増加 ※総合スポーツ大会への年間参加者の数	2,623人	4,000人	2,397人	-16.4%	C			生涯学習課
【進捗状況】 20競技団体による総合スポーツ大会を実施したが、競技種目の中で運営方法や日程設定の関係で策定時現状値よりも約230人減となった。								
【今後の取組】 一人でも多くの参加により総合スポーツ大会が盛り上がるよう各団体に呼びかけていく。浜田市ウォーキング協会の加盟により、参加者の増員を見込んでいる。								

2	トップアスリート教室の開催回数の増加 ※トップアスリートによる教室の年間開催回数	2回	4回	3回	50.0%	A			生涯学習課
【進捗状況】 公益財団法人日本サッカー協会による夢の教室(2回)と千葉すずさんによるSwim Clinic(1回)を行った。夢の教室では、夢を持つことと努力を続けることの大切さを講師から伝えられた。Swim Clinicでは、元オリンピック選手から直接指導を受けることで技術の向上につながった。									
【今後の取組】 引き続き実施することで、トップアスリートの経験や考えを市内児童に伝えていく。									
3	軽スポーツ教室の開催回数の増加 ※市が主催する軽スポーツ教室の年間開催回数	6回	12回	12回	100.0%	A			生涯学習課
【進捗状況】 ファミリースポーツ教室、軽スポーツの集い及び軽スポーツ教室を開催した。									
【今後の取組】 現在、浜田自治区のみの実施のため、他の自治区での実施拡大を図る。									

5 歴史・文化の伝承と創造

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	石央文化ホール利用者数の増加 ※石央文化ホールの年間利用者数	51,560人	55,000人	56,374人	139.9%	A			文化振興課
【進捗状況】 年度末に舞台工事があり、大ホールが使用できない時期があったが、NHKの公開録画の収録も行き、入館者数を確保した。									
【今後の取組】 平成28年度に更新したプロジェクターを利用した映画上映会を年に数回開催する予定としている。また、映画上映会に合わせて各種イベントを企画し、利用者数の増加を目指す。									
2	市内美術館における創作活動等の受講者数の増加 ※市内美術館でワークショップ、創作活動、講座等によって芸術に触れる人数	9,763人	10,000人	10,796人	435.9%	A			文化振興課
【進捗状況】 企画展に沿った内容のワークショップや創作活動等を開催することで参加者を伸ばすことができた。									
【今後の取組】 引き続き、来館者の興味・関心を引く内容のワークショップ等を開催していく。									
3	文化財の指定・登録件数の増加 ※国、県、市が指定した文化財の件数	66件	70件	66件	0.0%	B			文化振興課
【進捗状況】 市文化財審議会や団体から3件の提案が行われており、調査を進めている。団体提案の候補については、学術面や保存継承方法について説明を行う等の取組を進めた。									
【今後の取組】 文化財指定は学術的根拠を基本とするものであり、継続して取り組む性格のものであるため、引き続き、平成28年度の実績を踏まえた調査を進め、市文化財審議会に提示できるよう取り組む。									

IV 自然環境を守り活かすまち【環境部門】

6項目

1 特性を活かした景観形成の推進

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	緑と花の沿道推進事業実施件数の増加 ※事業に取り組んだ累積実施件数	89件	124件	96件	20.0%	B			建築住宅課
【進捗状況】 目標値は5件/年としているが、2か年で7件/10件と目標値を若干下回っている。敷地を駐車場にするケースが多く、実施件数が少なくなっている。									
【今後の取組】 今後も建物の完了検査の際に、設計者等に制度を紹介していく。									

2 環境保全と快適な住環境づくりの推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 環境出前講座の開催回数の増加 ※出前講座の通算開催回数	0回	30回	11回	36.7%	A			環境課
【進捗状況】 島根県立大学生や外国人研修生を対象としたごみ分別講座の開催、保育園児を対象としたエコライフワークショップを開催した。								
【今後の取組】 引き続き、ごみ分別やエコライフに関する出前講座を開催する。								
2 環境アダプトプログラム登録団体数の増加 ※環境アダプトプログラムへの登録団体数	29団体	35団体	29団体	0.0%	B			環境課
【進捗状況】 窓口での加入の案内等の実施により、3団体増加したが、高齢化を理由に3団体が脱退されたため、登録団体数が実質増加とならなかった。								
【今後の取組】 市内環境保全団体、事業所等にウェブサイト、広報などを使って周知を行う。								

3 地球温暖化対策の推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 はまだエコライフ推進隊の会員数の増加 ※はまだエコライフ推進隊の会員数	143会員	190会員	143会員	0.0%	B			環境課
【進捗状況】 会員募集チラシの作成・配布や広報はまだへの掲載等を行うも、新規会員の獲得にはつながらなかった。								
【今後の取組】 イベント・キャンペーンへの参加者を中心に、環境意識を高めるための啓発活動を積極的に行うことで会員数の増加を目指す。								

4 循環型社会の構築

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 市民一人あたりのごみ排出量の減少 ※総ごみ排出量÷本市人口÷365日	1,004g	967g	939g	175.7%	A			環境課
【進捗状況】 平成28年1月から実施した事業所ごみ適正排出の取組により、事業所から排出されるごみが激減した。								
【今後の取組】 事業所からのごみ排出量は減量となったが、家庭からのごみの排出量は変わっていないため、今後は、事業所の取組は維持しつつ、家庭からのごみ排出の減量に努めていく。								
2 ごみのリサイクル率の増加 ※(直接資源化量+中間処理後資源化量)÷総ごみ排出量×100	23.7%	24.6%	23.7%	0.0%	B			環境課
【進捗状況】 総ごみ排出量に占める資源ごみの排出量は変わらなかったことからリサイクル率の増加に至っていない。								
【今後の取組】 リサイクル率の増加に向け、資源ごみの分別につなげるための意識啓発に努める。								

V 生活基盤が整った快適に暮らせるまち【生活基盤部門】

21項目

1 道路網の整備

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 浜田三隅道路の全線開通 ※浜田三隅道路全線14.5kmの供用開始、石見三隅ICの供用開始	一部 供用開始	平成28年度 供用開始	平成28年度 供用開始	100.0%	A			建設企画課
【進捗状況】 平成28年12月18日、浜田三隅道路全線14.5kmが供用開始となった。								
【今後の取組】 浜田三隅道路の利用促進を図ることで、三隅益田道路の建設促進に寄与する。								

2	三隅益田道路の全線開通 ※三隅益田道路全線15.2Kmの供用開始、(仮称)岡見ICの供用開始	事業中	供用開始	事業中	22.0%	A			建設企画課
【進捗状況】 用地買収、改良・橋梁工事等が実施中である。									
【今後の取組】 引き続き供用開始に向け、国が実施する事業の推進を行う。									
3	県道改良促進 ※14路線の内7路線、13工区の完了をめざす。	14路線 (21工区)	7路線 (8工区)	10路線 (16工区)	38.5%	A			建設企画課
【進捗状況】 4路線、5工区が完了した。									
【今後の取組】 引き続き改良事業の促進を行う。									
4	農道整備促進 ※一般農道田原地区、はまだ中央地区、樺田原地区の3路線合計の整備率(3路線完了)	69%	100%	80%	35.5%	A			農林振興課
【進捗状況】 3路線とも概ね計画どおりに事業実施している。									
【今後の取組】 引き続き、整備事業の促進を行う。									
5	林道整備促進 ※林道足尾線、金城弥栄線、三隅線の3路線合計の整備率(3路線の内三隅線完了)	78%	90%	82%	33.3%	A			農林振興課
【進捗状況】 3路線とも概ね計画どおりに事業実施している。									
【今後の取組】 引き続き、整備事業の促進を行う。									
6	市道浜田527号線道路改良 ※〔浜田自治区〕浜田駅周辺の市道を整備し、駅南北の連絡を円滑にする。	0%	100%	5%	5.0%	C		○	建設整備課
【進捗状況】 道路設計はほぼ完了したが、踏切部の詳細設計には至っていない。用地測量、物件調査については一部完了している。									
【今後の取組】 工事着手し、早期完成を目指す。									
7	市道小国峠線道路改良 ※〔金城自治区〕狭小な市道の改良を行う。	0%	50%	0%	0.0%	D		○	建設整備課
【進捗状況】 県河川、県道改良が伴う事業のため、島根県と協議を進めている。									
【今後の取組】 島根県との協議を重ね、事業に着手する。									
8	市道戸地線道路改良 ※〔旭自治区〕集落間を結ぶ幹線市道の整備を行う。	10%	40%	13%	10.0%	B		○	建設整備課
【進捗状況】 測量設計、用地測量調査の完了後、用地取得、補償業務を実施し、工事に着手した。									
【今後の取組】 引き続き、用地取得、補償業務、工事を実施し、早期完成を目指す。									
9	市道谷線道路改良 ※〔弥栄自治区〕主に突角剪除を行う。	0%	50%	54%	108.0%	A		○	建設整備課
【進捗状況】 1～4工区のうち、2.3工区が完成し、4工区について継続実施している。									
【今後の取組】 4工区の工事完了後、1工区の工事に着手し、早期完成を目指す。									

10	市道白砂1号線道路改良 ※〔三隅自治区〕急カーブ、狭小市道の改良、及び集落の環状機能の充実を図る。	30%	50%	64%	170.0%	A	○	建設整備課
	【進捗状況】 測量設計、用地測量調査が完了し、用地取得、補償についてはほぼ完了した。工事も継続実施している。							
	【今後の取組】 引き続き、工事実施を進め、早期完成を目指す。							

2 公共交通の充実

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 生活路線バス1便当たり利用者数の維持 ※生活路線バス1便当たりの年間利用者数	2.0人/便	2.0人/便以上	1.6人/便	-20.0%	C	○	○	まちづくり推進課
【進捗状況】 人口減少と、バスに乗ることのできない高齢者の増加が減少の要因と考える。 一方、「敬老乗車券販売」「通学定期券購入費補助」を実施し、住民の移動手段への経済的支援を開始した。								
【今後の取組】 路線ごとの便数、ルート等を見直すとともに、それぞれの地域に合った交通体制の構築を目指す。								
2 予約型乗合タクシー1便当たり利用者数の維持 ※予約型乗合タクシー1便当たりの年間利用者数	1.8人/便	1.8人/便以上	1.5人/便	-16.7%	C	○	○	まちづくり推進課
【進捗状況】 利用対象者の減少が主な要因と考える。 一方、「敬老乗車券販売」「通学定期券購入費補助」を実施し、住民の移動手段への経済的支援を開始した。								
【今後の取組】 路線ごとの便数、ルート等を見直すとともに、それぞれの地域に合った交通体制の構築を目指す。								
3 輸送事業に取り組む地域自主組織数の増加 ※主体的に輸送事業に取り組む地域自主組織の数	1団体	3団体	1団体	0.0%	B	○	○	まちづくり推進課
【進捗状況】 新たに輸送事業を開始した組織は見られなかったが、2地区においてモデル事業として、コミュニティワゴン（市からの無償貸与の自家用車）導入による輸送活動の検討が進んでいる。								
【今後の取組】 地域の自主的な輸送事業のモデルとなるようコミュニティワゴン導入を進める。								
4 環境整備を実施したバス停数の増加 ※市がベンチや上屋の設置等、環境改善に取り組んだバス停数の累計	3か所	6か所	4か所	33.3%	A	○		まちづくり推進課
【進捗状況】 合同庁舎前のバス停に上屋を設置した。								
【今後の取組】 バス停の利用状況を勘案しながら、待合の環境改善に努める。								

3 地域情報化の推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 市民向けのGIS情報提供 ※市民向け公開レイヤー数	0	14	1	7.1%	C			情報政策課
【進捗状況】 新たに一つのレイヤーを市民向けに公開したが、目標のペースには届かなかった。								
【今後の取組】 各課が所有しているレイヤーの情報を精査し、公開に向けてデータを整備する。								
2 各種システムのクラウドサービスへの切り替え ※庁内システムをクラウドサービスに切り替えた件数	2件	7件	3件	20.0%	B			情報政策課
【進捗状況】 統合型GISシステムについて、クラウドサービスに移行を完了した。								
【今後の取組】 平成29年度に庁内情報システム（グループウェア・メール）の更新が予定されている。コストとメリットのバランスを見ながら、クラウドサービスの活用を検討する。								

3	BCP（事業継続計画）の策定・運用 ※BCP計画を策定する	未策定	策定	未策定	20.0%	C			情報政策課
【進捗状況】 災害時に速やかな復旧を行うためには、電源の調達とサーバ機器の集約が必須となることから、サーバ集約を行うために必要となるインフラ基盤を調達した。									
【今後の取組】 今後更新期限を迎えるシステムから、順次サーバ基盤への集約を進める。ある程度集約が進んだ段階で、電源容量を計算し、非常用電源の調達等を行う。									
4	携帯電話不感地域の解消 ※携帯電話が利用できない集落の数	8集落	0集落	8集落	0.0%	D		○	情報政策課
【進捗状況】 携帯基地局の整備に関しては、国の補助事業等を活用して携帯事業者の初期負担をほとんどなくす枠組みを設けているが、採算性の問題から事業者の参画が進まなかった。									
【今後の取組】 引き続き、携帯事業者に対して参画の要請を行う。									

5 快適な生活基盤の整備

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	管路の耐震化率の増加 ※災害拠点病院等の重要給水施設への耐震管路の割合 平成25延長324,510m 平成33延長330,000m	10.5% (33,973m)	21.2% (70,000m)	10.7% (35,406m)	1.9%	D			工務課
【進捗状況】 耐震管路延長は約1,400m延伸したが、現在は簡易水道統合事業に事業集中しており、簡易水道統合後に市街中心部の管路耐震化工事を実施する。									
【今後の取組】 統合後、耐震化補助金を活用しながら管路耐震化事業を実施する。									
2	汚水処理人口普及率の増加 ※汚水処理施設が整備されている区域内人口の割合	44.1%	51.0%	46.0%	27.5%	B			下水道課
【進捗状況】 概ね計画どおり整備が進んでいる。									
【今後の取組】 引き続き、下水道整備を進めていく。									
3	地籍調査実施済み面積の増加 ※第6次国土調査事業 10年計画（平成22年度～平成31年度）の目標値を2か年スライド	266.89km ² (40.0%)	406.97km ² (61.0%)	285.57km ² (42.8%)	13.3%	B			地籍調査課
【進捗状況】 1地区の調査は、複数の工程（年数）を経て完了となる事業であり、計画面積を年度ごとの実施工程で面積按分しているため、単年度での進捗率は大きく伸びない要因があるが、コンスタントな事業実施に取り組んでいる。									
【今後の取組】 進捗率を上げるため、実施可能な事業計画による取組を行う。									

VI 安全で安心して暮らせるまち【防災・防犯・消防部門】

9項目

1 災害に強いまちづくりの推進

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	屋外子局数の増加（浜田自治区） ※屋外拡声子局の数	33局	53局	46局	65.0%	A			安全安心推進課
【進捗状況】 単価の改定等により、設置数が単年度目標を下回っているが、期間を通してみれば順調に進んでいる。									
【今後の取組】 引き続き、増設していく。									
2	防災防犯メール登録者数の増加 ※浜田市防災防犯メールに登録している者の数	5,826人	10,000人	7,841人	48.3%	B			安全安心推進課
【進捗状況】 県大新入生オリエンテーションやイベントでのPRもあり、順調に増加している。									
【今後の取組】 引き続き、各種イベント等でPRをしていく。									

3	自主防災組織の組織率の増加 ※世帯数に対する組織された地域の世帯数の割合	46.5%	85.0%	65.8%	50.1%	A		○	安全安心推進課
【進捗状況】 防災の取組をしている地区まちづくり推進委員会も自主防災組織として組織率に算入した。									
【今後の取組】 引き続き、防災出前講座等を活用し、自主防災組織設立を働きかけていく。									
4	総合防災訓練参加者数の増加 ※市総合防災訓練に参加する関係者、市民の人数の累計	600人	10,000人	1,800人	12.8%	C			安全安心推進課
【進捗状況】 三隅自治区において地域住民参加の避難訓練を実施し、メイン会場では旭中学校生徒の参加があった。									
【今後の取組】 住民参加の避難訓練実施を、全自治区に拡大していく。									

2 地域防犯力の強化・交通安全対策の推進

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	防犯出前講座の開催回数の増加 ※講座の年間開催回数	6回	40回	5回	-2.9%	D		○	安全安心推進課
【進捗状況】 防犯出前講座の申込数が少ない状況であった。周知の方法や、市民の関心を引くことに課題を残している。									
【今後の取組】 「防犯」という枠にとらわれず、防災出前講座や各課の主催する集会（高齢者対象）に同行し、積極的に実施していく。									

3 消防・救急体制の充実

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	救急救命士の資格取得者数の増加 ※消防職員における救急救命士の資格取得者数	32名	38名	33名	16.7%	B			警防課
【進捗状況】 毎年度1人の養成計画を立て取り組んでいる。									
【今後の取組】 引き続き、計画に基づいて養成を行う。									
2	応急手当の講習受講者数の増加 ※生産年齢人口の約2割（5人に1人）	4,542人	5,000人	4,307人	-51.3%	C			警防課
【進捗状況】 前年度と比較して相対的に受講者数は減少しているものの、近年はほぼ横ばいの状態となっている。									
【今後の取組】 新規受講者、リピーターをともに増やすため、浜田市HPや広報誌、ケーブルテレビ等を活用しPRする。									
3	まちかど救急ステーション認定事業所数の増加 ※毎年度20事業所を認定	42事業所	180事業所	79事業所	26.8%	B			警防課
【進捗状況】 新規認定事業所を年間20事業所として取り組んでいる。									
【今後の取組】 現行は計画のとおりに移しているが、目標である180事業所を目指し浜田市HPや広報誌、ケーブルテレビ等を活用しPRする。									
4	防火講話・消火訓練実施回数の増加 ※防火講話及び消火訓練の実施回数	29回	50回	28回	-4.8%	C			予防課
【進捗状況】 昨年度とほぼ同じ回数となっている。毎年同じ町内会等による防火講話及び消火訓練の依頼が多く、新規の町内会等の申込みが無い状況である。									
【今後の取組】 広報はまだへの掲載、他の課と協力し様々な会合等で防火講話や消火訓練の積極的な開催案内を行う。									

1 地域コミュニティの形成

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 地区まちづくり推進委員会の組織率の増加 ※地区まちづくり推進委員会に参画する町内の組織率	66%	90%	70%	16.7%	A	○		まちづくり推進課
【進捗状況】 浜田自治区において、4地区で新たに「地区まちづくり推進委員会」が設立された。								
【今後の取組】 市民と行政の協働によるまちづくりを目指し、「地区まちづくり推進委員会」の組織育成を推進する。								
2 人材育成研修会等の開催回数の増加 ※地域リーダー育成に関する研修会の年間開催回数	2回	6回	3回	25.0%	B	○	○	まちづくり推進課
【進捗状況】 初めての試みとして、地区まちづくり推進委員会において地域活動を担う市民による「先進地視察」とその後の「報告会」を開催した。地域を越えた地域リーダー同士の交流と連携につながったと考える。								
【今後の取組】 地区まちづくり推進委員会へのヒアリングで要望の多かった「地域を越えた交流や研修会」を積極的に実施する。								
3 市民団体の補助事業申請件数の増加 ※市民協働活性化支援事業の年間実施件数	7件	15件	6件	-12.5%	C	○		まちづくり推進課
【進捗状況】 大規模団体からの補助上限額に達した申請が多かったことから、件数は目標値に届かなかったものの、補助総額は例年以上となった。一定の協働の活性化は図られたが、小規模団体の活動にも気軽に活用できるよう改善が必要と考える。								
【今後の取組】 平成29年度から地域に根差した小規模な活動に寄与できるよう、補助限度額を減額し、補助率をアップしている。								

2 人がつながる定住環境づくりの推進

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 U・Iターン者数の増加 ※各種支援制度を通じたU・Iターン者の数	34人	50人	57人	143.8%	A	○	○	政策企画課
【進捗状況】 定住相談員を配置し、U・Iターン希望者の住居確保や雇用等についての相談対応、都市部において実施されるU・Iターンフェア等に参加し、定住の推進を図った。								
【今後の取組】 ふるさと島根定住財団等関係機関、関係部署との連携を図り、U・Iターンフェア等を効率的に活用し、定住に結びつく取組を行う。								
2 U・Iターン者との意見交換会の開催回数の増加 ※意見交換会の年間開催回数	1回	3回	2回	50.0%	B	○	○	政策企画課
【進捗状況】 シングルペアレント介護人材育成事業の新規研修生受入時に歓迎交流会を行い、意見交換を行った。								
【今後の取組】 今後の新規研修生受入時には、引き続き、意見交換会を開催するとともに、シングルペアレント介護人材育成事業以外のU・Iターン者との意見交換会の場を検討していく。								
3 U・Iターン相談件数の増加 ※定住フェア、空き家バンク制度等を通じた年間相談件数	255人	300人	286人	68.9%	A	○	○	政策企画課
【進捗状況】 シングルペアレント介護人材育成事業の募集に伴い、Iターンの相談件数が増加した。								
【今後の取組】 引き続き、U・Iターンの相談窓口として適切に相談対応ができるよう関係機関と連携し、また日常相談件数の増加に向けてこれまでの相談対応を点検し、充実したフォローアップに努める。								
4 空き家バンク登録件数の増加 ※空き家バンクへの年間登録物件数	13件	20件	66件	757.1%	A	○	○	政策企画課
【進捗状況】 市のHP及び広報等で新たな空き家登録の周知を行い、また家財処分や物件改修の補助金を創設したことにより、空き家バンク登録が急増している。								
【今後の取組】 引き続き、広報、HPやSNS等を活用しながら制度の周知に努め、関係機関と連携し、U・Iターン者等の住環境を充実させた取組を行う。								

5	婚活イベント参加者数の増加 ※市主催又は助成団体が開催する婚活イベントの年間延べ参加者数	162人	200人	373人	555.3%	A	○		政策企画課
【進捗状況】 しまね縁結びサポートセンター浜田センターが平成28年1月から開所したことにより、市内のイベント数が増え、参加者数の増加につながっている。									
【今後の取組】 引き続き、男女の出会いの場となるイベントの開催や支援団体開催イベントの周知を図るとともに、出会いの場に参加することが成婚につながるようなセミナー開催やサポート企業への働きかけを検討していく。									

3 大学等高等教育機関と連携した地域づくり

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	市民交流促進事業実施件数の増加 ※大学等と市民団体とが実施する交流事業の6年間の合計件数	6件	50件	12件	24.0%	A	○	○	まちづくり推進課
【進捗状況】 交流事業申請件数が増加し、学生の地域活動への参画を促すことができた。									
【今後の取組】 新たな交流が生まれるよう学生、地域双方に積極的に周知を図る。									
2	県立大学との共同研究実施件数の増加 ※県立大学と浜田市が実施する共同研究の6年間の合計件数	4件	24件	7件	29.2%	A	○		まちづくり推進課
【進捗状況】 平成27年度6件、28年度7件の多種多様なテーマの共同研究が実施された。また、共同研究の報告会も大学において開催され、多くの関係者が聴講した。									
【今後の取組】 より一層、浜田市の課題解決につながる研究となるよう研究内容を精査していく。									
3	新入生浜田探索ツアー参加者数の増加 ※大学等の新入生を対象に実施する浜田探索ツアー参加者の6年間の合計人数	38人	1,000人	273人	27.3%	A	○		まちづくり推進課
【進捗状況】 平成27年度248人、28年度273人の参加があり、参加者アンケートも、概ね良好な意見となっている。									
【今後の取組】 浜田市で学ぶ学生に浜田市の魅力を発見してもらおうと同時に、行政と学生の顔の見える関係づくりの一役を担う事業としていく。									

4 人権を尊重するまちづくりの推進

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	人権研修会等の開催回数の増加 ※地域や公民館における各種人権啓発に関する研修会の年間開催回数	42回	64回	49回	31.8%	A			人権同和教育啓発センター
【進捗状況】 指導主事を派遣しての巡回講座の実施に努めたほか、公民館では独自に人権同和教育研修に取り組んだ。									
【今後の取組】 人権啓発DVDを使ったビデオフォーラムやワークショップなどの手法も取り入れながら、少人数でも気軽に参加していただけるような研修会のメニューを検討し、公民館を中心に取組が広がるよう周知に努める。									

5 男女共同参画社会の推進

	目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1	審議会等への女性参画率の増加 ※浜田市男女共同参画推進計画に掲げる審議会等への女性参画率	25.2%	40.0%	27.1%	12.8%	B		○	人権同和教育啓発センター
【進捗状況】 女性委員の登用に努めている。男女共同参画推進計画（第3次）を作成し、参画に向けて基本的な方向と具体策を示した。									
【今後の取組】 女性の視点に立った政策や方針決定ができるよう、男女共同参画推進計画の周知や各課との連携、啓発を図っていく。									

自治区別計画 ～地域の個性を活かしたまちづくり～

1 浜田自治区								2項目	
目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1 地区まちづくり推進委員会の組織率の向上 ※地区まちづくり推進委員会に参画する町内の組織率（地区まちづくり推進委員会に参画する町内の世帯数の割合）	42.6% (50.4%)	85.0% (87.1%)	49.6%	16.5%	A			まちづくり推進課	
【進捗状況】 新たに4地区で「地区まちづくり推進委員会」が設立され、全体で14地区となった。									
【今後の取組】 地域コミュニティの脆弱な地域の底上げも行いながら、市民と行政の協働によるまちづくりを目指し、「地区まちづくり推進委員会」の組織育成を推進する。									
2 自主防災組織の組織率の向上 ※浜田自治区の世帯数に対する自主防災組織が組織された地域の世帯数の割合	43.3%	85.0%	56.7%	32.1%	B			安全安心推進課	
【進捗状況】 防災の取組をしている地区まちづくり推進委員会も自主防災組織として組織率に算入した。									
【今後の取組】 引き続き、防災出前講座等を活用し、自主防災組織設立を働きかけていく。									
2 金城自治区								5項目	
目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1 認定農業者数の増加 ※認定農業者数（個人・法人）	16経営体	18経営体	16経営体	0.0%	B			金城支所産業建設課	
【進捗状況】 大規模農業団地である元谷団地の造成に伴い、入植者の募集が始まり、希望する法人があるなど、認定農業者数の増加について成果を上げつつある。									
【今後の取組】 引き続き、新開団地及び元谷団地の入植者を募り、農家の規模拡大や新規就農者の受入れを行い、認定農業者数の拡大に向けて取り組む。									
2 水田面積の維持保全 ※水田面積	539ha	485ha	536ha	100.0%	A			金城支所産業建設課	
【進捗状況】 中山間地域等直接支払交付金の制度で営農の広域化を進めるなど、農地の維持保全を集落から地域で取り組む体制に転換し始めている。									
【今後の取組】 引き続き、営農の広域化を進める取組を行う。また、サポート経営体等と連携し、維持困難な農地保全に取り組む。									
3 宿泊客数の増加 ※年間の宿泊客数	22,000人	26,000人	17,816人	-104.6%	D			金城支所産業建設課	
【進捗状況】 美又温泉国民保養センターの指定管理者撤退により日帰り入浴施設となったことから、宿泊客数が大幅に減少した。美又温泉では、平成28年度美又地域振興事業等により、各旅館がアドバイザーの助言に基づく施設改修や課題解決等についての取組を実施した。また、シンボル施設である美又温泉国民保養センターの今後について検討を行った。									
【今後の取組】 各旅館は宿泊客増に向け、引き続きアドバイザーからの助言を受け、課題解決等を行う。美又温泉国民保養センターについては、施設のあり方について方向性を検討する。									
4 まちづくり連絡会活動回数の増加 ※地区まちづくり推進委員会が協働して行う活動回数	1回/年	2回/年	1回/年	0.0%	C			金城支所防災自治課	
【進捗状況】 地域活動連携支援事業（地域振興基金事業）の構築にあたり、連携体制づくり、活動計画及び学習会の実施等について協議した。									
【今後の取組】 今後のまちづくりの方向性を定め、具体的な事業化を目指す。									

5	地域活動団体と連携した活動回数の増加 ※地区まちづくり推進委員会と地域活動団体が連携して行う活動回数	0回/年	5回/年	3回/年	60.0%	A			金城支所 防災自治課
【進捗状況】 雲城まちづくり委員会において、地域内の活動団体として「ハッチョウトンボを守る会」、「雲城公民館」及び「かなぎシェアハウス学生会（かなぎシェアハウスに入居する県立大学生）」と連携した各種活動が行われた。									
【今後の取組】 持続可能な地域づくりに向け、金城自治区の全ての地区まちづくり推進委員会での取組につないでいくため、各まちづくり推進委員会で構成する「まちづくり連絡会」において、連携の推進を図っていく。									

3 旭自治区 5項目

目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1 守るべき農地面積の維持保全 ※質の高い農地への転換により遊休農地化を防ぐ（維持保全率73%）	487ha	357ha	482ha	100.0%	A			旭支所産業 建設課	
【進捗状況】 作業受託や利用権設定が促進するよう、守るべき農地の優良農地化を図るため、耐久性畦畔の整備を1,707m実施した。									
【今後の取組】 平成29年度においては、坂本、今市地域において3,715mの耐久性畦畔の整備事業を実施する。									
2 旭豊米(地域棚田米)の販売拡大 ※地域の特色ある米をブランド米として販売（ブランド米販売面積率30%）	0.0ha	8.3ha	0.6ha	7.2%	D			旭支所産業 建設課	
【進捗状況】 坂本地区の0.6haの圃場において、島根県立大学の学生の協力を得て「坂本米」の栽培を行い、約2tをふるさと寄附返礼品や店頭での販売のために出荷した。									
【今後の取組】 平成29年度においては、栽培面積の拡大や販売促進に力を入れ、約4tを販売する計画である。更には農地保全を促進していくため集落営農法人化を計画している。									
3 宿泊客数の増加 ※年間の宿泊客数	19,353人	25,000人	18,909人	-7.9%	D			旭支所産業 建設課	
【進捗状況】 雪不足によるスキー客の減少、また日帰りへの移行により、策定時より宿泊客数が減少した。温泉利用についても減少傾向である中、旭温泉を基点とした観光振興に関して浜田市と島根県立大学による共同研究を実施し、各温泉施設を含めた旭温泉全体の問題点を探り、県大生から課題解決のための提言を受けた。									
【今後の取組】 県大生からの提言を受け、各施設の課題解決に向けての取組への支援を行い、PRを強化する。									
4 まちづくり推進委員会等連携会議の開催回数の増加 ※他団体との連携会議の年間開催回数	1回	3回	2回	50.0%	C			旭支所防災 自治課	
【進捗状況】 旭自治区内のまちづくり推進委員会等連携会議を行い、各委員会ごとの手法や計画などを学びあった。また、平成28年12月に浜田市内のまちづくり推進委員会合同メンバーで三次市に2日間先進地視察を行った。									
【今後の取組】 地域課題の解決に向けた他団体との情報共有を図るとともに、改選委員への研修に取り組んでいく。また、旭自治区成人を祝う会実行委員会を保護者とともに計画し、ふるさと意識の醸成と愛着心の向上を図っていく。									
5 未利用施設の有効活用数の増加 ※閉校した学校の未利用施設の有効活用数	1施設	4施設	3施設	66.7%	A			旭支所防災 自治課	
【進捗状況】 旧木田小学校を木田暮らしの学校として木田地区振興協議会を中心に活用し、様々なイベント行事を行っている。また、和田小学校の一部を公民館、旧市木小学校を市木ふれあい広場として利用している。									
【今後の取組】 都市農村交流促進などを担う施設として活用を推進し、雇用創出と地域活性化に取り組んでいく。									

4 弥栄自治区								7項目
目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 認定農業者の増加 ※農業経営改善計画が新たに認定された農業経営体数	12人	15人	14人	66.7%	A			弥栄支所産 業建設課
【進捗状況】 個人野菜生産者の1名増加及び、集落営農組織を法人化し、1法人が増加した。								
【今後の取組】 弥栄自治区集落営農組織連携協議会、弥栄自治区野菜生産者協議会を中心に、組織的に農業者の育成を図る。								
2 特定農業法人の増加 ※一定地域の農地の過半を集積する農業生産法人数	3組織	5組織	4組織	50.0%	A			弥栄支所産 業建設課
【進捗状況】 弥栄自治区集落営農組織連携協議会の組織強化として、任意組織の法人化への取組を行い、1組織が増加した。								
【今後の取組】 各集落巡回をして、弥栄自治区の農地管理の最適化を行い、効率的な法人組織を育成する。								
3 弥栄米取り扱い面積の増加 ※弥栄米の栽培基準を満たした水稻栽培面積	0ha	100ha	10ha	10.0%	B			弥栄支所産 業建設課
【進捗状況】 初年度としては10haの栽培面積であったが、米の品質（食味など）も良く、消費者にも好評であった。								
【今後の取組】 栽培管理を徹底し、品質を落とさず、良質な米作りを行う中で、面積を増やしていく。								
4 入込客数の増加 ※年間の入込客数	26,037人	30,000人	20,677人	-135.3%	D			弥栄支所産 業建設課
【進捗状況】 悪天候による大規模イベント（3,000人規模）の中止、宴会利用者の減、浴場施設の故障による休業等が響き、大きく入込客数を減らす結果となった。								
【今後の取組】 料理メニューの見直しと魅力的な体験メニューの開発に取り組み、着実な入込客数の増加を目指す。								
5 宿泊客数の増加 ※年間の宿泊客数	2,468人	3,000人	2,247人	-41.5%	D			弥栄支所産 業建設課
【進捗状況】 景気の影響等により、一件当たりの宿泊人数が減少するなど厳しい状況にある。								
【今後の取組】 郷土料理やどぶろくを活かした宿泊プラン開発や効果的なPR、情報発信により宿泊人数の増加に取り組む。								
6 U・Iターン世帯の増加 ※定住世帯数（年間5世帯）	14世帯	44世帯	21世帯	23.3%	A			弥栄支所防 災自治課
【進捗状況】 市内外のU・Iターン世帯に積極的に関わりを持ち、定住化につながる取組を行った。 ただし、実質的には単身者が多く、人口増加につながる世代の移住にはつながっておらず、人口維持にはなっていない。								
【今後の取組】 昨年度の反省点を踏まえ、市外の移住希望者と出会う機会を広げて、弥栄の地の魅力を的確に伝えていき、人口増加につながる世代や大人数の世帯の定住につながる取組を行う。移住者へは定着してもらえるようなサポートを行っていく。								
7 自主的な防災活動に取り組む自治会数の増加 ※計画的に避難訓練等の自主防災活動を行う自治会の数	3自治会/ 26自治会	26自治会/ 26自治会	12自治会/ 26自治会	39.1%	A			弥栄支所防 災自治課
【進捗状況】 各自治会への説明会や防災訓練などを行った結果、自治会の枠を超えた連合自主防災組織の設立などにより、12自治会に増加した。 （自主防災組織設立数7団体）								
【今後の取組】 防災訓練や研修会を開催し、新たな自主防災組織の設立を含め、実質的な防災活動に取り組む自治会の増加を目指す。								

5 三隅自治区								8項目
目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課
1 営農組織数の増加 ※集落営農数	1法人4団体	1法人6団体	1法人4団体	0.0%	B			三隅支所産 業建設課
【進捗状況】 新規の営農組合設立に向け、地元に対して説明会等を開催するなど周知を図っており、平成29年度の設立に向け準備を進めている団体が1団体ある。								
【今後の取組】 中山間地域等直接支払交付金事業等を実施している地域に対し、説明会等を開催するなど周知を図っていく。								
2 西条柿生産戸数の維持 ※柿生産組合員の戸数	47戸	47戸	47戸	100.0%	A			三隅支所産 業建設課
【進捗状況】 組合員の戸数が維持できていることから、目標が達成できている状況にある。								
【今後の取組】 組合員の高齢化が進んできていることから、世代交代や新規組合員の加入に向けた取組を進める必要がある。								
3 石州和紙製造戸数の増加 ※石州和紙の製造戸数	4戸	5戸	4戸	0.0%	B			三隅支所防 災自治課
【進捗状況】 紙漉きの後継者として2人を受け入れ、4つの和紙事業者の指導を受けている。								
【今後の取組】 更に1人の後継者を受け入れ（計 3人）、3年間の指導・研修を重ね、紙漉き職人の育成・確保に努める。								
4 楮新規植栽面積の増加 ※年度ごとの楮の新規植栽合計面積	0.3ha	1.6ha	1.0ha	53.8%	B			三隅支所産 業建設課
【進捗状況】 約2年間で0.95ha増加していることから、目標に対して概ね順調に進んできている。引き続き、既存の栽培者の植栽面積の増加と新規植栽者の確保に向け取り組む。								
【今後の取組】 農家を中心に楮の栽培の周知を図るとともに、新たに自治会単位での取組について検討を行う。								
5 地区まちづくり計画の全地区での策定 ※地区まちづくり推進委員会におけるまちづくり計画の策定数	4地区/6地区	6地区/6地区	5地区/6地区	50.0%	B			三隅支所防 災自治課
【進捗状況】 三隅自治区内6地区のまちづくり委員会のうち、5地区は年度内に計画を策定した。1地区については、現在、策定中である。								
【今後の取組】 策定中のまちづくり委員会は、平成29年7月頃に策定する予定としている。								
6 地区まちづくり推進委員会防災訓練の実施 ※地区まちづくり推進委員会における防災訓練の年間実施回数	0回/年	1回/年	1回/年	100.0%	D			三隅支所防 災自治課
【進捗状況】 自治会、集落に出向いて、防災出前講座を実施した。併せて、4つの地区まちづくり推進委員会に加盟する9つの自治会と地区対策本部との情報伝達を行う住民参加型の訓練を行った。								
【今後の取組】 引き続き、自治会や集落に出向いて、防災出前講座を行い、地域・地区全体が一体となった訓練等の取組を推進し、地域防災力の向上に努める。								
7 従事者の宿舎の確保 ※発電所建設及び点検作業従事者のための空き家・空きアパートの確保件数	0件	20件	10件	50.0%	C			三隅支所防 災自治課
【進捗状況】 各自治会の協力を得て、空き家の情報収集を行った。この情報を基に、空き家の損傷等の状況を確認し、居住できる家屋の所有者に対し、「空き家バンク制度」の説明及び登録の依頼を行った。								
【今後の取組】 引き続き、空き家情報の収集に努め、U・Iターン及び三隅発電所2号機作業員の宿舎として活用するとともに、危険家屋発生の防止に努める。								

8	従事者用宿舎の運営に取り組む地域や団体の増加 <small>※発電所建設及び点検作業従事者のための宿舎運営に取り組む地域・団体数</small>	0地域・団体	3地域・団体	0地域・団体	0.0%	D			三隅支所防災自治課
【進捗状況】 宿舎の予定地が具体的になっていないが、宿舎運営について商工会や自治会連絡協議会などに情報提供をしている。									
【今後の取組】 作業員宿舎等の建設事業所の要望を踏まえ、地元（商工会・自治会等）との調整を行っていく。									

開かれた行財政運営の推進

									2項目
目標	策定時 現状値	目標値	平成28年度 現状値	目標 達成率	進捗評価	総合 戦略	定住 自立圏	担当課	
1	健全な実質公債費比率の確保 <small>※実質的な公債費相当額の占める割合の過去3年間の平均値</small>	12.0%	18.0%未満	9.9%	135.0%	A		財政課	
【進捗状況】 平成28年の算定数値は9.9%（過去3年間の平均値）で、対前年度比0.7%の減少となったが、単年度の算定数値では9.46%が10.24%となり、健全化判断比率の算定が始まって以来初めて増加に転じた。									
【今後の取組】 毎年度、中期財政計画を更新することで将来見通しを明らかにするとともに、徹底した経費の削減と自主財源の確保を強化することにより、健全な財政運営の確立を目指す。									
2	外部委員による総合振興計画の進捗状況の確認・評価回数増加 <small>※外部委員による総合振興計画の進捗状況を確認・評価する年間回数</small>	0回	1回	1回	100.0%	A		政策企画課	
【進捗状況】 浜田市総合振興計画審議会において、前計画である「浜田市総合振興計画後期基本計画」及び「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」の平成27年度の進捗状況について確認・評価を行った。									
【今後の取組】 毎年度、浜田市総合振興計画審議会において「第2次浜田市総合振興計画前期基本計画」、「まち・ひと・しごと創生 総合戦略」、「浜田市定住自立圏共生ビジョン」の進捗状況について評価・検証を行う。									